

**放課後等デイサービス なるなる
における自己評価結果コメント（公表）**

1	<p>利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切である</p> <p>工夫している点 児童の遊びの内容や、1人になりたい時に合わせて部屋ごとの環境を整えている。</p>
2	<p>職員の配置数は適切である</p> <p>工夫している点 今の利用人数までなら問題ないと思う。 職員が一人つく必要のある利用児がいる場合はアルバイトの方に入ってもらするなど対応している。</p>
3	<p>事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされている</p> <p>工夫している点 現状、バリアフリーを求められる児童はほとんどいないため、優先的な課題にはあげづらい。職員が直接支えるなどで対応</p> <p>課題や改善すべき点 古い建物なので仕方ないところではあるが、最近トイレのドアが重くて開けにくくなっていて、一部の非力な利用児は開けられないこともある。</p>
4	<p>業務改善を進めるためのPDCAサイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画している</p> <p>工夫している点 利用児の状況や保護者対応については、ミーティング以外でも職員間で話して情報共有できていると思う。</p>
9	<p>アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成している</p> <p>工夫している点 日々職員間で共有や話し合いを行っている。</p>
12	<p>活動プログラムが固定化しないよう工夫している</p> <p>工夫している点 利用児童の状況に合わせて、プログラムに柔軟性を持たせている。</p>
14	<p>子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成している</p> <p>工夫している点 利用児童同士の相性や、下校時間帯がバラバラなため、平日に集団活動の時間を設けることが困難である。調理活動や話し合いの時間帯を設けている。</p>
16	<p>支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有している</p> <p>工夫している点 翌日の朝のミーティングで振り返りを行う時もある。</p>

**放課後等デイサービス なるなる
における自己評価結果コメント（公表）**

21	<p>学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っている</p> <p>工夫している点</p> <p>全てではないが、ほとんどの学校との連絡調整は行えている。</p>
26	<p>放課後児童クラブや児童館との交流や、障がいのない子どもと活動する機会がある</p> <p>工夫している点</p> <p>他児のことを気にする利用児もいるため、児童センターなどには行けていない。</p>
29	<p>保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレント・トレーニング等の支援を行っている</p> <p>工夫している点</p> <p>茶話会等の実施で保護者への育児支援は行えていると感じる。</p>
39	<p>非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っている</p> <p>工夫している点</p> <p>今後実施予定</p>

総評	<p>耐震の検査等異常はないものの、建物は古いため、建付けが悪くなってきている部分が見受けられる。施設改修の対応を行いたいと考えている。</p> <p>全体的に制度やマニュアル、体制に関する周知が徹底出来ておらず、職員の認知度が低いことにより、「どちらともいえない」と評価されている部分が多いと感じた。今般の報酬改定により、事業所及び職員ひとりひとりに求められることへの徹底が必要不可欠となるため、今後は、周知や管理に関する体制を強化していく。</p>
-----------	--